

第22期 メンバー募集のご案内

2022年12月9日(金) スタート

企業価値を高める“モノづくり”のための“品質革新”と“マネジメント向上”をめざす
品質保証部門の責任者・マネジャー・次世代リーダーによる相互啓発と共同研究の会

品質革新マネジメントフォーラム

開催にあたって

100年に一度のコロナ禍のパンデミックが引き起こした大きな社会変容の渦中において、このところの急激な円安の流れに沿って製造業の国内回帰が重視されつつあります。一方、SDGs、ESG等サステナブルなグローバル競争の中、あらためて“ものづくりの真髄である「品質」こそが企業価値を左右する大きなファクター”と言えましょう。

当フォーラムは2000年の発足以降、継続して研究討議活動を重ねて参りました。第22期を迎えるにあたり、品質マネジャーの役割が益々増大する中で“攻めの品質”を合言葉に新たな付加価値創造を目指し、互いにオープンな議論を通じて絶え間ないイノベーションに挑戦して参ります。是非とも熱意ある多くの関係各位のご参加をお待ち申し上げます。

*正式入会をご検討中の方は、第1回例会に限り無料で体験参加頂けます(要事前予約)。

開催期間

期間：2022年12月～2023年9月(全10会合)

日時：「年間プログラム」の開催日程に沿って開催(原則13:00～17:00)

開催：第1回例会は「オンライン(Zoom)」のみの開催となります。

*以降、状況により会場開催(東京都内の会議室)とオンライン(Zoom)の併用開催を予定しています。

第1回例会 日時：2022年12月9日(金) 13:00～17:30

基調講演 『“ワクワクする未来”に挑戦する会社へ』

(ご講演) 三洋化成工業(株) 代表取締役 執行役員副社長 兼 生産部門担当兼生産本部長 **前田 浩平** 氏



【オリエンテーション】 前期活動報告／今期討議テーマのポイント・概要説明／テーマ別グループ討議の仮体験、など

第2回例会 日時：2023年1月19日(木) 13:00～17:00

【希望テーマ別グループ討議(第1回)】

希望テーマアンケートを実施後、各グループに分かれて、メンバー各社の現状と課題などを共有した上で、各自・各社の知見・実践事例を持ち寄り、課題解決に向けた方策について以降、最終例会まで継続して集中討議を進めます。

〈第22期の3つのグループ討議テーマ〉

- 本社部門・事業部門における品質保証部門の新たな役割
- 商品企画・開発・生産プロセスにおける源流管理
- 高い品質マインドを持つ、品証人財の育成策と品証マネージャーのあり方

第3回例会 日時：2023年2月16日(木) 13:00～17:30

アドバイザー講演 『ものづくりの真髄 ～品質こそ生命～』

(ご講演) オフィスM企画 代表／ジャパンフーズ(株) 取締役(元オリンパス(株) 品質環境本部長) **松浦 強** 氏



【希望テーマ別グループ討議(第2回)】

第4回例会 日時：2023年3月9日(木) 13:00～17:30

ゲスト講演 『品質不正の課題と処方箋』

(ご講演) KPMGコンサルティング(株) アソシエイトパートナー **水戸 貴之** 氏



【希望テーマ別グループ討議(第3回)】

フォーラムの構成と運営要領

◆基本理念

本フォーラムは、参加メンバーの共同研究と相互啓発を通じて、品質革新に向けた実践方策、経営改革を目指した質の向上、人材育成等の諸問題を取り上げ、主体的にその見解と具体策を交流・討議し合うことを目的とします。

◆メンバー

本社・事業部・工場の品質保証部門、SDGs、ESG、リスク管理、環境安全部門等の責任者・マネージャー・ご担当者を対象とします。また、参加メンバーはギブアンドテイクをモットーに主体的に研究討議に参加し、その成果はメンバー間で共有するものとします。

◆例会日と例会連絡

原則として「年間プログラム」の開催日程に沿って開催（13：00～17：00）

* Ex. 13:00～15:00(ゲスト講演) / 15:00～17:00(希望テーマ別グループ討議)

例会の詳細は、事前にEメールにてご案内を差し上げます。

◆運営幹事(会社名50音順)

*メンバーの代表として本フォーラムの活動にご協力頂くとともに、グループ討議の進行・運営サポートを頂きます。

香取 知氏 グローリー(株) 品質保証本部 品質保証企画部 品質管理G グループマネージャー

渡邊 淳氏 小林製薬(株) 信頼性保証本部 本部長

森馬 洋氏 小西化学工業(株) 理事 研究部 品質保証部担当

水谷 洋氏 丸善石油化学(株) 品質保証部長

※ほか数氏ご依頼、ご検討中

◆アドバイザー *本フォーラムの活動に対し、適宜アドバイス・サポートを頂きます。

松浦 強氏 ジャパンフーズ(株) 取締役/オフィスM企画代表 品質経営アドバイザー(元オリンパス(株) 品質環境本部長)

原 博氏 H2 Lab. 代表(元富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部技術担当部長)

一柳 高人氏 MS2i 代表(元コニカミノルタ(株) 環境経営・品質推進部品質推進グループ課長)

山田 透氏 (株)Bizitsパートナーズ シニアパートナー(元コマツ 常務執行役員 品質保証本部長)

※10月末日現在

今期(第22期)のグループ討議・3つのテーマについて

グループ	討議テーマとポイント
A	本社部門・事業部門における品質保証部門の新たな役割 「品質保証」は、いまや会社の砦となっており、品質保証組織の役割はよりいっそう重要になっています。その中で、自分の置かれた環境や仕事内容をふと見直し、このままで良いのだろうかと気づいたあなた！ その疑問に対する解決策が、これからの品質保証が進むべき道、すなわち「品質保証部門の新たな役割」なのかも知れません。「Quality」という原点に立ち戻り、周囲の環境および時代の変化も考慮し皆さんが抱いておられる課題や問題点の解決に繋がるグループ討議を進めていく中で、「新たな役割とは何か」を見つけていきたいと思えます。
B	商品企画・開発・生産プロセスにおける源流管理 昔から“品質は工程で作り込む”と言われていました。ISO9001はその仕組みを体系的に全工程に渡って構築することを目的としています。工程でも最初の部分、つまり商品企画から開発、生産工程設計から生産といわゆる“源流管理”をしっかりしていく事が大事です。本テーマについて、前期の活動成果をさらに深化すべく、各社各自の課題や悩み、討議したいポイントを共有化し、その中から比較的共通の課題に対して情報交換による深掘りを進め、改めて各社へフィードバックできる仕組み、制度、ツールなどを見出したいと思えます。
C	高い品質マインドを持つ、品証人材の育成策と品証マネージャーのあり方 前期は『高い品質マインドを持ち、自己成長を続ける「品証人材の育成策」』を議論し、自分ごと化して周囲へ働きかける意識、コミュニケーションの方法などをまとめました。 今期はさらに深め、メンバー一人一人のモチベーションの源泉(価値観)を理解し、組織の価値観とすり合わせる方法や、対話力の向上策などを議論したいと思えます。 また我々マネージャーも魅力ある上司としての成長が必要なことから、これからの時代に求められるマネージャーのあり方(ロールモデル、意識・行動改革など)も絡めて議論して行きたいと思えます。

※参加人数によっては、テーマ変更やグループの再編、他グループへの移動をお願いする場合もございます。予めご承知おきください。

今期(第22期)の年間プログラム

開催日	内 容				
第1回例会 2022年 12/9(金)	【基調講演】“ワクワクする未来”に挑戦する会社へ (ご講演) 三洋化成工業(株) 代表取締役 執行役員副社長 兼 生産部門担当兼生産本部長 前田 浩平 氏 【オリエンテーション：前期活動報告／今期討議テーマのポイント・概要説明／テーマ別グループ討議の仮体験、など】				
第2回例会 2023年1/19(木)	【希望テーマ別グループ討議(第1回)】				
第3回例会 2/16(木)	【アドバイザー講演】ものづくりの真髄 ～品質こそ生命～ (ご講演) オフィスM企画 代表/ジャパンフーズ(株) 取締役(元 オリンパス(株) 品質環境本部長) 松浦 強 氏 【希望テーマ別グループ討議(第2回)】				
第4回例会 3/9(木)	【ゲスト講演】品質不正の課題と処方箋 (ご講演) KPMGコンサルティング(株) アソシエイトパートナー 水戸 貴之 氏 【希望テーマ別グループ討議(第3回)】				
第5回例会 4/13(木)	以降のプログラムについて 参加メンバーの皆様の問題意識やグループ討議からの課題意識をもとに、運営幹事、アドバイザーと協議の上、適宜テーマ・ゲストを選定してまいります。 通常例会 通常例会は下記の構成で進めてまいります(時間配分は目安です)。				
第6回例会 5/11(木)	13:00 15:00 17:00				
第7回例会 6/8(木)	<table border="1"> <tr> <th>ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供</th> <th>個別テーマに沿ったグループ集中討議</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ●先進の取り組み事例、アプローチ ●専門家による品質革新の新しい潮流、他 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●参加企業相互の事例交換 ●課題解決方策の徹底追求 ●他では聞けない知識の共有、他 </td> </tr> </table> <p>先進企業の第一線実務家や専門家等をお招きし、品質保証に関連する様々な視点からお話を伺います。その後、質疑・意見交換を通じて双方向のコミュニケーションを図ります。</p> <p>今期(第22期)は3つのテーマを挙げさせて頂きました。メンバーの皆様は各グループに分かれ各社の課題への取り組み等について意見交換をして頂きます。ホッポの議論の中から、新たなアイデア・次の展開へのヒントを探ります。</p>	ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供	個別テーマに沿ったグループ集中討議	<ul style="list-style-type: none"> ●品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ●先進の取り組み事例、アプローチ ●専門家による品質革新の新しい潮流、他 	<ul style="list-style-type: none"> ●参加企業相互の事例交換 ●課題解決方策の徹底追求 ●他では聞けない知識の共有、他
ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供	個別テーマに沿ったグループ集中討議				
<ul style="list-style-type: none"> ●品証体制を取り巻く今日的課題の把握と整理 ●先進の取り組み事例、アプローチ ●専門家による品質革新の新しい潮流、他 	<ul style="list-style-type: none"> ●参加企業相互の事例交換 ●課題解決方策の徹底追求 ●他では聞けない知識の共有、他 				
第8回例会 7/13(木)	その他の活動 ●「合宿研究会」「企業・大学・研究機関等の見学会」なども検討してまいります。 ●日程等変更となる場合がございます。その際は速やかにご案内いたします。				
第9回例会 8/31(木)	次回の最終発表会に備え、グループ別の集中討議				
第10回例会 9/28(木)	各グループより討議成果報告と全体共有～今後の研究活動推進に向けて				

* 上記は変更の可能性もございます。変更の際は速やかにご連絡申し上げます、あらかじめご了承ください。

例会	前期(21期)の活動経過
1	(基調講演) “品質こそ命” ～モノづくりの真髄～ 【オリエンテーション／前期活動報告／今期討議テーマポイント・概要説明／グループ討議仮体験】 オフィスM企画 代表/ジャパンフーズ(株) 取締役 松浦 強 氏
2	(基本講演) 基本に立ち返って考えるQMS入門 【希望テーマ別グループ討議(第1回)】 H2Lab 代表(元、富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部 技術担当部長) 原 博 氏
3	(ゲスト講演) CS向上とサービスの本質を科学する 【希望テーマ別グループ討議(第2回)】 松井サービスコンサルティング 代表 松井 拓己 氏
4	(ゲスト講演) 製品クレームに対し、設計段階で実施しておきたい評価 【希望テーマ別グループ討議(第3回)】 元(株)トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員 様
5	(ゲスト講演) TQM活動の改善に向けた取り組み ～方針管理と人材育成～ 【希望テーマ別グループ討議(第4回)】 コーセル(株) 取締役 執行役員 TQM推進室長 様
6	(ゲスト講演) QFD(品質機能展開)の考え方・活用法と今後の展開 【希望テーマ別グループ討議(第5回)】 玉川大学 経営学部国際経営学科 准教授 様
7	(ゲスト講演) VUCA時代の品質改善とデータドリブン ～品質改善のための顧客価値創造～ 【希望テーマ別グループ討議(第6回)】 日本ビジネス革新コンサルティング(株) シニアコンサルタント 様
8	(ゲスト講演) 品質工学の実践的な進め方 ～技術開発ステップ展開～ 【希望テーマ別グループ討議(第7回)】 嘉指技術品質研究所 代表 様
9	最終発表会に向け、グループ別に徹底集中討議
10	各グループより1年間の研究討議結果についての発表会

メンバーの声 (ご参加アンケート、コメントより抜粋)

- 初めての参加かつリモート開催で勝手も分からない中でしたが、多くの品質担当の方々とお話しが出来たことはとても有意義でした。業界・製品など違いもあるものの、品証人としての悩み課題は共通しており、それぞれを掘り下げていくと、やるべき事の根っこは一緒なんだと確認でき、自身としての行動・姿勢の振り返りと、足りてない所を具体的に再認識できた所は良かった。
- 「品質マインドの高い人材」の育成は各社同様に悩まれ、またハードルも高いことが改めて良く分かった。それを越えるための要素を一緒にいくつも挙げた過程は非常に参考になったし、実践してみたい内容もいくつか得られた有意義な討議でした。運営幹事はじめ、メンバーの皆さまに感謝申し上げます。
- 組織体系や品質向上施策は、各社によって様々ではあるが、経営陣や品質部門としての考えが末端の従業員までしっかり意思、考えが共有できているのかが課題であり、重要であると感じた。本社の品質保証部門がどんなに新しい施策、品質を良くしようと思っても、施策に対する思いや目的が従業員に伝わらなければ、会社全体で改善しないのでは…。本社部門と末端の部門または従業員の間で意思の疎通がとれ相互に意見を言いやすい環境作りが心理的安全性を高めていく一つの要因になるのではと感じた。
- 源流管理やサイレントチェンジの悩みは他社も同様で普遍的な問題であることを再認識。B2B中心の弊社のお客様の声を活かす仕組みが不十分と考えており、B2Cの会社の取り組みが非常に参考になった。
- 開発工程で品証としての役割・関わり方は各社共通の課題だと認識。開発段階での検証不足、顧客情報に触れる機会、開発段階での情報不足を実感した。新たな仕組みの提案や現状の見直し等考えていきます。
- 様々な業種の品証部門の方から各社の仕組みづくり・取り組みにおけるメリット・デメリットや品証としてのマインドなどを伺うことが出来、視野が広がるが多々ありました。半面、悩みごとについて共感する部分も多々あり、体制見直しや重点を置く場所が異なるだけで、悩みごとの根幹は意外と似ているのかもしれないと感じました。オンラインでも時間が足りないほど意見交換が出来ましたので、いつか実際にお話しできる機会があればと思います。

前期 (第21期) ご参加メンバー一覧 (主登録者および副登録者) *敬称略・順不同

UBE(株)	品質保証部 化学品品質保証グループ グループリーダー	住友化学(株)	エネルギー・機能材料品質保証室 品質保証統括
UBE(株)	品質保証部 機能品品質保証グループ 堺機能品チーム チームリーダー	セントラル硝子(株)	化成品品質保証室 課長
宇部物流サービス(株)	環境安全・品質統括部 品質統括担当部長 宇部事業所 品質管理部長	セントラル硝子(株)	川崎工場 品質保証部
(株)オカムラ	サステナビリティ推進部 品質保証室	(株)東芝	生産推進部 品質推進室
(株)クラレ	ジェネスタ事業部 商品管理部 品質保証グループ 主管	パナソニック(株)	エレクトリックワークス社 品質・環境センター 品質企画部 品質企画課
(株)クラレ	エラストマー事業部 品質・商品開発部 品質保証グループ グループリーダー	パナソニック(株)	エレクトリックワークス社 品質・環境センター 品質企画部 品質基盤強化推進課 主幹技師
グローリー(株)	品質保証本部 品質保証企画部 品質管理グループグループマネージャー	日立国際電気(株)	品質保証本部 主任技師
グローリー(株)	品質保証本部 ソフトウェア品質保証部 品質保証2G 主任技師	富士通(株)	品質保証本部品質マネジメント統括部 シニアマネージャー
グローリー(株)	品質保証本部 コンポーネント品質保証統括部 リテール品質保証部 品質保証2G 主任技師	富士通(株)	品質保証本部品質マネジメント統括部
小西化学工業(株)	理事 研究部 品質保証部担当	丸善石油化学(株)	品質保証部長
小林製薬(株)	信頼性保証本部 本部長	(株)村田製作所	品質保証統括部 品質保証部 品質支援課
小林製薬(株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 国内品質保証監査グループ	(株)村田製作所	品質保証統括部 事業品質保証1部 品質保証2課
小林製薬(株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 国内品質保証監査グループ	ヤマハ(株)	品質保証部製品コンプライアンスグループ 主幹
小林製薬(株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 国際・桐灰品質保証監査グループ	ヤマハ(株)	品質保証部 グローバル品質戦略グループリーダー
サンスター(株)	薬事・品質保証部品質保証グループ	ヤマハ(株)	品質保証部 QMS企画推進グループリーダー
サンスター(株)	薬事・品質保証部品質保証グループ	(株)LIXIL	購買統括部 品質管理・プロセス革新部 GL
住友化学(株)	健康・農業関連事業品質保証室 農業化学品質保証グループ チームリーダー	(株)LIXIL	購買統括部 品質管理・プロセス革新部 GL
住友化学(株)	エッセンシャルケミカルズRC推進部 主席部員	(株)LIXIL	購買統括部 品質管理・プロセス革新部 GL

参加要領

【事業コード：220314】

■参加料

1社1~2名様でご参加の場合 (主登録者+副登録者①)

正会員 (※税込み)	253,000円 (本体価格230,000円)	一般 (※税込み)	286,000円 (本体価格260,000円)
----------------------	-----------------------------------	---------------------	-----------------------------------

1社3名様でご参加の場合 (主登録者+副登録者①+副登録者②)

正会員 (※税込み)	308,000円 (本体価格280,000円)	一般 (※税込み)	341,000円 (本体価格310,000円)
----------------------	-----------------------------------	---------------------	-----------------------------------

- *各社派遣されるご人数様により、参加料が上記2通りございます。
- *合宿研究会、見学会、懇親会等を開催の場合は、別途実費を申し受けます。
- *分割お支払い等も承ります。お気軽にご相談ください。
- *期の途中での副登録人数の変更は応じかねます。予めご了承下さい。

■体験参加について

第1回例会(12/9)は、入会ご検討中の方に限り、正式申込前の体験参加が可能です。
ご希望の方は、お申し付けください(人数制限がございます)。

■申込方法

- (1) Web：企業研究会ホームページからお申込みいただけます。
「お申込はこちら」からお申し込みください。

品質革新マネジメントフォーラム

- (2) Eメール：下記担当者宛に以下をお知らせください。
①御社名 ②郵便番号/所在地 ③主登録者のお名前(ふりがな)
④主登録者のご所属お役職 ⑤主登録者のメールアドレス
⑥主登録者の電話番号 ⑦副登録者のお名前(ふりがな)
⑧副登録者のご所属お役職 ⑨副登録者のメールアドレス
⑩副登録者の電話番号

■お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 企業研究会 担当：小野原(おのらはら)

TEL：080-1393-5593 e-mail：onohara@bri.or.jp

〒110-0015 東京都台東区東上野1-13-7 ハナブサビル
https://www.bri.or.jp/hinsitu/